



わたし、 チュー王子に なりました

菊地しずく(文学部3年)

私は「チュー王子」になった。
ゴールデンウィーク(GW)中の5月2日、
多摩キャンパスの臨時休業日に東京・神宮球場で行われた
東都大学野球春季リーグ、中央大学—國學院大學戦で
チュー王子が神宮デビューした。

神宮 デビュー!



神宮球場で応援するチュー王子
(写真提供=中央大学硬式野球部)

発端は多摩キャンパス・入学センターに所属する学生アドバイザーの仕事を終えた後だった。仕事は「未来の中大生」を支援している。

応援団の発案でチュー王子が硬式野球部の応援に出向く、神宮デビューすると聞き、それはとても楽しそうだなとほほ笑んだ。

私にとって、毎年GWは硬式野球部の試合を観戦できるチャンスだ。既に神宮へ行く予定を立てていた。「ぜひ、チュー王子をやりたい」と言ったところ、なんと、実現してしまったのである。同カード初戦のチュー王子はチアリーダーが務める。私は第2戦を仰せつかった。

チュー王子はチュー王子であって、「中に人は存在しない」ことになっているらしい。受験生を応援す

るため、2013年11月に誕生した中大のマスコットキャラクターである。いまや超人気者で注目度は高い。

そこで、応援団の方々と共に練習した。友人2人も突然の協力要請に応じてくれた。体型上、難しいといわれる階段の上り下り練習では完璧なエスコートをしてもらった。

試合当日の朝は、夜来の雷雨もおさまって快晴だった。出番は四回表から五回裏までの2イニングだ。

三塁側スタンド席を離れ、裏側で準備を始めた。友人たちは慣れた手つきで、チュー王子はすぐに整った。この間、友人が野球のことをほぼ知らないでルールを教えたり、応援パフォーマンスを練習したり。そうこうするうちに出番のときはやってきた。

チュー王子の「使命」を確認した。『中央大学に関する諸活動・団体を応援すること』

そうだ、いまから実行する。

「特技」と「好きなタイプ」も確認した。『エールを送ること』『頑張っている人、努力している人』

私もそう思う。希望通りの、まさにぴったりな役目である。気持ちがいっそう引き締まった。

ついに観客席デビュー

四回表、午前11時20分、ついに披露目だ。スタンドにいた野球部員の皆さんもチュー王子には興味津々であったようで、登場時は励ましのこもったパワフルな洗礼を受けた。

その後、チアリーダーの横で紹介を受けた。喝采を博した。中大応援席がこぞって笑顔になったように見えた。

この回、先頭打者の大城幸泰選手(商3)が塁に出た。スコア1-1。勝ち越しのランナーだ。中大サイドは活気づいた。応援に合わせてパフォーマンスを披露。星野源さんのヒット曲「恋」の軽快なメロディーも後押ししてくれた。

五回表も先頭打者が出塁した。終了の五回裏まで応援に次ぐ応援。スタンドとチュー王子はとても楽しんだ。引き揚げる際も、写真を撮らせて欲しい! などと声がかかる。チュー王子は大人気。さながらスターのような感覚である。

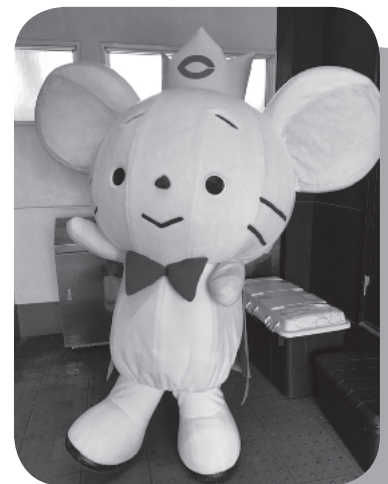
スタンドと一体で楽しく応援

今回の経験は本当に稀有なものだと思う。試合結果は残念だったが、神宮に集まった皆さまのおかげで、非常に楽しい時間を過ごすことができた。

野球は素晴らしい。スタンドが一体となって応援するのも素晴らしいことだ。

入学センターの皆さま、応援団の皆さま、硬式野球部の皆さま、そして、チュー王子に心より感謝申し上げます。

応援を終えた今、チュー王子は私の心の中にいる。



出番前のチュー王子
(写真提供=小高綾弓・文学部3年)